

## 副理事長所信

室 名 : 夏目室  
役 職 : 副理事長  
氏 名 : 夏目 唯

「人」の力で成り立つこの組織において、会員数の減少は最大の問題である。「人」が減れば、運動を起こす力は弱まり、地域へインパクトを与える事業の開催が困難になるだけでなく、果ては組織の消滅へと繋がってしまいます。昨今、各地青年会議所で会員数減少が問題視されていますが、東海青年会議所も決して例外ではありません。一時は100人近い会員数を誇っていましたが、今はその半分以下です。このままのペースで会員が減り続ければ、組織の存続自体が危ぶまれてしまいます。しかし、それだけは絶対にあってはなりません。

我々には、明るい豊かな社会の実現に向け、先輩諸兄が築き上げてきたこの東海青年会議所を未来永劫発展させる責務があります。そのためにも今こそ会員拡大の重要性を見つめ直し、本気で取り組み、会員数の減少に歯止めをかける必要があります。とは言え、まずはメンバーの気持ちが前向きにならない限り、今まで通りの結果しか生みません。何のためにJCをやっているのか分からない。この組織の何が魅力なのか分からない。会員拡大は誰かがやってくれるから任せておけば良い。そんな気持ちで活動しているメンバーも少なからず居ます。当然ながら、そんな状態では自発的に新たな仲間を呼び込むことなど出来ません。

まずはメンバー一人ひとりがJCに魅力を感じ、活動に対してワクワク出来るようになることが最優先です。そうなれば、誰に言われるわけでもなく、自ら新しい仲間に声を掛けるようになり、自然と人が増えていくと確信しています。本年度はそのような意識改革にも着目し活動して参ります。

また、コロナも落ち着き、新たな生活スタイルが確立されつつある今、拡大の手法や新入会員のフォロー方法も従来のやり方をそのまま継承するのではなく、時代に合っているものと合っていないものを精査した上で、より効率的な方法を模索する必要があると考えます。そのような時代のニーズに合ったやり方を見出すのも今年度の課題と認識して参ります。

最後になりますが、このような大役に任命して下さった安藤康之理事長に感謝申し上げます。私自身、過去に会員拡大委員会の委員長を務めた際に得た知識・経験を活かし、片桐乾次郎委員長をはじめとするメンバーをサポートしながら一人でも多くの新たな仲間を迎え入れられるよう全力で邁進していく所存です。一年間どうぞよろしくお願い致します。